

## 東京都地方独立行政法人評価委員会

### 令和5年度第2回高齢者医療・研究分科会（持ち回り） 議事要旨

1. 開催日時：令和5年7月10日（月）から同月14日（金）まで
2. 開催方法：持ち回り開催
3. 出席委員：大内分科会長、藍委員、大橋委員、土谷委員、永山委員
4. 議題：
  - (1) 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの令和4年度業務実績評価（案）の意見聴取
  - (2) 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの第三期中期目標期間業務実績評価（案）の意見聴取

#### 5. 議事概要：

##### 【委員】

##### （令和4年度業務実績評価案について）

- ・実績の数値の比較に当たっては、前年度との比較だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けない令和元年度以前との比較も必要である。
- ・病院部門においては、新型コロナウイルス感染症流行下においても、重点医療を中心に的確に取り組んでいる。また、地域連携の推進や「高齢者医療モデル」の確立・普及については、法人の努力による成果が見えてきた。引き続き、高齢者の急性期医療を担う病院としての取組を進めてほしい。
- ・項目5「医療の質の確保・向上」については、クリニカルパスにおけるバリエーションの分析・検証を引き続き進めるとともに、分析結果を踏まえた改善を図っていくことが重要である。
- ・項目7「地域連携の推進」については、地域医療連携システムによる初診Web予約の活用や地域の医療機関への訪問活動の強化などにより、紹介率も向上してきているなど、法人の努力がうかがえる。また、逆紹介率は目標値を大きく上回っており、高く評価できる。
- ・項目9「患者中心の医療の実践・患者サービスの向上」については、患者満足度調査を適切に実施し、患者満足度の向上に努めるとともに、患者サービスのより一層の充実を図ってほしい。
- ・項目10「高齢者の特有な疾患と老年症候群を克服するための研究」について、特にミトコンドリア超複合体の可視・定量化に成功した研究は、センターの存在意義を示すレベルの高いものであり、高く評価できる。
- ・項目15「高齢者の医療と介護を支える専門人材に育成」については、フレイルサポート医・栄養士の育成について、東京都全体に展開していることは評価できる。一方で、「健康長寿医療研修センター」については、新設したことにより、今後具体的にどのような効果が出てくるかを注視していく必要がある。
- ・項目17「適切な法人運営を行うための体制の強化」について、コンプライアンス研修の実施に当たり、5年に1度の頻度でよいのか検討が必要。受講率向上に向けては、集合形

式だけでなく、Webでの動画配信を取り入れるなど、実施方法を含めた工夫が必要である。

- ・項目18「収入の確保」について、特に医業収入の確保に当たっては、今後、コロナ関連補助金が廃止されることも踏まえて、引き続き努力が求められる。

- ・項目19「コスト管理体制の強化」について、物価高騰の影響を受ける中においても、包括契約の導入等により一定の経費削減に取り組んでいることは評価できる。一方で、委託費など増加している項目については、増加理由を確認した上で評価を行う必要がある。

- ・項目20「その他（リスク管理の強化）」について、サイバー攻撃への対策について、昨年度の分科会での指摘を踏まえ、法人として対策強化に取り組んだことは評価できる。今後も継続的に対策に取り組むことを期待する。

#### **（第三期中期目標期間業務実績評価案について）**

- ・項目10「高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究」について、令和4年度実績で評価しているミトコンドリア超複合体の研究を期間評価でも評価してよいのではないか。

#### **【事務局】**

- ・第3回高齢者医療・研究分科会で、評価委員からの意見を確認していただき、評価委員会としての意見を決定する。

- ・本分科会で頂戴した意見については、第3回高齢者医療・研究分科会に向け、評価に反映させるよう調整する。